

イントロダクション

1 科学について哲学すること

哲学とは 経験的知識を越える部分を持つ学問。
とりあえず何でもうたがってみる学問

哲学の四分野——論理学、認識論、形而上学、価値理論

	哲学一般	科学哲学
論理学	正しい推論とは？	科学における推論の規則は？
認識論	正しい認識とは？	科学の正しい方法は？
形而上学 (存在論)	いろいろな事物の本質 存在するとは？	科学的世界像 科学が措定する対象は存在するか？
価値理論 (倫理学)	価値とは？ われわれは何をなすべきか	科学における価値とは？ 科学者は何をなすべきか

2 「線引き問題」から見る科学哲学

疑似科学——科学のようで科学でないもの

科学でない→中心的な主張が科学のエスタブリッシュメントから否定されている

科学のようで→その分野の研究者たち自身は自分達のやっていることが科学的であると主張していたり少なくとも科学の装いをまもっていたりする

じゃあ哲学は？

(1) 科学と疑似科学の間には推論の方法を始めとした方法論的側面についてどんな違いが存在するだろうか。

(2) 科学が存在するとみなすものと疑似科学が存在するとみなすもの間には差があるのだろうか。

(3) 科学に関する政策と疑似科学に関する政策はそれぞれどのようにあるべきだろうか。

3 本題に入る前の但し書き

- 1 最終的に正しいかどうか、が問題ではない。
- 2 明確な線を引くことができなくても科学と疑似科学の区別はのこる。
- 3 この授業を最後まで聞いても答はできません。